



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 日本高周波鋼業株式会社

コード番号 5476 URL http://www.koshuha.co.jp

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 河瀬 昌博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 湖東 彰弘 TEL 03-5687-6025

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	28,743	△6.8	1,111	16.9	1,202	20.6	813	△25.1
27年3月期第3四半期	30,832	6.3	950	—	996	—	1,085	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 837百万円 (△27.8%) 27年3月期第3四半期 1,159百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	5.55	—
27年3月期第3四半期	7.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	39,710	19,203	48.4	131.00
27年3月期	40,882	18,659	45.6	127.29

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 19,203百万円 27年3月期 18,659百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	△4.4	1,260	0.9	1,360	2.1	1,080	△22.8	7.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	146,876,174株	27年3月期	146,876,174株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	289,464株	27年3月期	279,959株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	146,592,398株	27年3月期3Q	146,600,653株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 第3四半期決算概要	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、7月-9月期のGDP（国内総生産）がプラス成長となるとともに、円安基調の継続による輸出の採算改善や原燃料価格下落等の中で、企業業績も総じて改善傾向で推移するなど、上期は緩やかな回復をたどりました。しかしながら、下期に入ってから、中国や新興国等の経済が低迷する中で、企業業績も悪化傾向にあり景気の先行きに不透明感が増しております。こうした中で2015暦年の国内粗鋼生産量は前年比5.0%減の1億515万トンとなり、鉄鋼需要全般は低迷を余儀なくされました。

このような経済環境のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高28,743百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益1,111百万円（前年同期比16.9%増）、経常利益1,202百万円（前年同期比20.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益813百万円（前年同期比25.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔特殊鋼〕

工具鋼、特殊合金及び軸受鋼の各製品分野で売上数量が減少したことや販売価格が下落したことにより売上高は21,017百万円（前年同期比7.2%減）となりました。損益面では売上数量の減少や労務費等が増加したものの、原燃料価格の下落などから、営業利益は669百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

〔鑄鉄〕

建設機械・産業機械向けを中心に売上数量が減少したことにより、売上高は6,137百万円（前年同期比7.0%減）となりました。損益面では売上数量が減少したものの、原燃料価格の下落などから、営業利益は348百万円（前年同期比43.2%増）となりました。

〔金型・工具〕

自動車向けを中心に売上が堅調に推移し、売上高は1,588百万円（前年同期比0.1%増）となりました。損益面では生産コストの改善や経費減少等もあり、営業利益は93百万円（前年同期比171.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少464百万円、たな卸資産の減少151百万円等による流動資産の減少931百万円、有形固定資産の減少121百万円及び投資その他の資産の減少98百万円等により39,710百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,171百万円減少しました。

負債合計は、支払手形及び買掛金の減少924百万円、賞与引当金の減少338百万円、流動負債その他の減少467百万円等により20,507百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,715百万円減少しました。

純資産合計は、期末配当の実施293百万円や親会社株主に帰属する四半期純利益の計上813百万円等により19,203百万円となり、前連結会計年度末に比べ543百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期業績予想につきましては、平成27年10月30日に公表いたしました予想から修正は行っておりません。なお、平成28年3月期の期末配当予想につきましては、これまで未定とさせていただいておりましたが、当期の業績と財務状況の見通しを考慮し、1株当たり1円50銭とさせていただきます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	195	134
受取手形及び売掛金	7,761	7,297
製品	3,134	3,387
仕掛品	4,370	4,095
原材料及び貯蔵品	3,229	3,100
その他	895	639
貸倒引当金	△12	△11
流動資産合計	19,576	18,644
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,635	6,550
土地	8,507	8,507
その他(純額)	4,162	4,125
有形固定資産合計	19,305	19,183
無形固定資産	106	87
投資その他の資産		
投資有価証券	1,025	978
その他	899	847
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	1,894	1,795
固定資産合計	21,306	21,066
資産合計	40,882	39,710

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,527	6,603
短期借入金	4,595	4,694
未払法人税等	93	62
賞与引当金	455	117
その他	3,362	2,894
流動負債合計	16,034	14,372
固定負債		
長期借入金	458	425
再評価に係る繰延税金負債	1,884	1,879
退職給付に係る負債	3,268	3,267
その他の引当金	109	91
その他	468	470
固定負債合計	6,188	6,134
負債合計	22,222	20,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,139	1,139
利益剰余金	915	1,435
自己株式	△35	△36
株主資本合計	17,689	18,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	155
土地再評価差額金	1,220	1,225
退職給付に係る調整累計額	△438	△385
その他の包括利益累計額合計	970	995
純資産合計	18,659	19,203
負債純資産合計	40,882	39,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	30,832	28,743
売上原価	27,060	24,777
売上総利益	3,772	3,965
販売費及び一般管理費	2,821	2,854
営業利益	950	1,111
営業外収益		
受取配当金	42	55
受取賃貸料	39	51
助成金収入	13	5
その他	54	78
営業外収益合計	150	191
営業外費用		
支払利息	37	30
売上債権売却損	21	17
出向者人件費負担金	18	21
その他	25	31
営業外費用合計	104	101
経常利益	996	1,202
特別利益		
固定資産売却益	—	0
補助金収入	566	—
投資有価証券売却益	42	—
ゴルフ会員権売却益	8	—
特別利益合計	617	0
特別損失		
固定資産処分損	39	68
固定資産圧縮損	524	—
投資有価証券評価損	4	—
ゴルフ会員権売却損	—	10
特別損失合計	568	79
税金等調整前四半期純利益	1,045	1,123
法人税、住民税及び事業税	47	86
法人税等調整額	△87	224
法人税等合計	△40	310
四半期純利益	1,085	813
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,085	813

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	1,085	813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△33
土地再評価差額金	—	4
退職給付に係る調整額	52	53
その他の包括利益合計	74	24
四半期包括利益	1,159	837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,159	837
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,645	6,600	1,587	30,832	—	30,832
セグメント間の内部売上高 又は振替高	124	19	5	150	△150	—
計	22,770	6,619	1,593	30,983	△150	30,832
セグメント利益	672	243	34	950	—	950

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,017	6,137	1,588	28,743	—	28,743
セグメント間の内部売上高 又は振替高	124	30	1	157	△157	—
計	21,141	6,168	1,590	28,900	△157	28,743
セグメント利益	669	348	93	1,111	—	1,111

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 第3四半期決算概要

平成28年2月5日
日本高周波鋼業株式会社

平成28年3月期 第3四半期決算概要

連 結

1. 当四半期の業績(累計)と通期予想

(単位：百万円、%)

摘要	当期 28年3月期 第3四半期	(対前年同期)		前年同期 27年3月期 第3四半期	通期予想 28年3月期
		増減額	増減率		
売上高	28,743	△ 2,089	△6.8%	30,832	39,000
営業利益	1,111	161	16.9%	950	1,260
経常利益	1,202	205	20.6%	996	1,360
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	813	△ 272	△25.1%	1,085	1,080
設備投資	1,113	253	29.4%	860	1,600
減価償却費	1,219	25	2.1%	1,194	1,650

2. セグメント別売上高・営業利益(累計)

【製品・サービス別】

(単位：百万円)

摘要	当 期		前年同期		増 減	
	28年3月期第3四半期		27年3月期第3四半期		売上高	営業利益
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		
特殊鋼	21,017	669	22,645	672	△ 1,628	△ 3
鋳 鉄	6,137	348	6,600	243	△ 462	105
金型・工具	1,588	93	1,587	34	1	58
計	28,743	1,111	30,832	950	△ 2,089	161

【海外売上高】

(単位：百万円、%)

摘要	当 期		前年同期		(対前年同期)	
	28年3月期第3四半期		27年3月期第3四半期		増減額	増減率
	売上高	連結売上高比	売上高	連結売上高比		
アジア	3,990	13.9%	3,955	12.8%	34	0.9%
その他の地域	88	0.3%	65	0.2%	22	34.9%
計	4,078	14.2%	4,020	13.0%	57	1.4%
連結売上高	28,743		30,832		△ 2,089	△6.8%

3. 経常利益増減益要因(前年同期比)

(単位：億円)

増 益 要 因	金額	減 益 要 因	金額
1. 原燃料価格下落	13	1. 売上数量減少	6
2. コスト改善	1	2. 販売価格下落	1
		3. 労務費	3
		4. その他	2
計 (A)	14	計 (B)	12
		差引 (A)-(B)	2